

1 部の 使命	<p>議会事務局は、適切な緊張関係を背景とした地方自治における二元代表制のもと、市民にとって最良・最適な意思決定が行われるよう、議会の政策立案や監視等における助言スタッフとして機能することにより、持続可能なやぶぐらし幸せ社会を実現します。</p> <p>【令和4年度の評価】常任委員会等各委員会で議案等の審議をするに当たり、助言を行ってきた。養父市議会BCP（業務継続計画）を策定し、あらゆる災害発生時において、市民の不安解消と、安心・安全な日常を早期に取り戻すため、行動することを計画に明記した。</p>
---------------	---

2 それ までの 経 営 評 価	<p>【令和4年度実績】</p> <p>△・議員発議による政策提案の支援：2件//0件</p> <p>○・議会だより特集記事の掲載：2回//議会報告会、議会BCP、議会構成など、その時々々のタイムリーな記事を掲載した。</p> <p>△・適時適切な会議録の公開：本会議3か月以内、委員会1か月以内//委員会会議録作成が遅れ気味であった。</p> <p>○・時間マネジメントによる時間外管理：残業時間数：令和3年並み//令和3年並み</p> <p>【評価】経営目標4項目のうち2項目で達成し、50%の達成率であった。</p> <p>議会でのタブレット使用の本格化により、基本的な使用方法について議員と一緒に研修を行った。また、本年度はグループウェアアプリを本格導入するため、ステップアップ研修を実施した。デジタル化の推進については、業務の効率化のため今後とも取り組む。</p> <p>【原因】議員発議による政策提案の支援については、定数・報酬及び通年議会の調査研究を行ったが、政策提案には至らなかった。</p> <p>【対応】定数・報酬については、特別委員会で議論することとなり、そこで対応する。会議録については事務分掌の見直し及び業務の効率化を図り解消する。</p>
------------------------------------	---

3 外部 環境	<p>◎機会</p> <p>【政治】議員のなり手不足に向けた法改正（議員の兼業規定の緩和）</p> <p>【社会】デジタル田園都市構想の取組などICTの推進。</p> <p>【社会】新型コロナの5類移行</p> <p>▽脅威</p> <p>【社会】人口減少</p>
---------------	--

4 内部 環境	<p>○強み</p> <p>【人材】多様な議員による3つの会派構成</p> <p>【協働】産学官金公民における人口課題の共有</p> <p>【環境】市議会のデジタル化</p> <p>▽弱み</p> <p>【市民】議会モニターの固定化</p> <p>【情報】ICTに関する議員の個人差</p>
---------------	---

5 重要 経営 課題	<p>【政策】 政策立案できる議会を目指す</p> <p>【情報】 開かれた議会を実践する情報発信の強化</p> <p>【情報】 議会の政策立案を支援する議会図書室の強化</p> <p>【市民】 市民起点の議会改革を推進する</p> <p>【人材】 職員間で事務の共有化を図る</p> <p>【経営】 市民起点による議会経営の実践</p>
---------------------	---

6 部の 経営 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課：議会事務局兼監査委員事務局 ・ 人員：6人 ・ 予算：議会費と監査委員費の合計 149,083千円
---------------------	---

7 部の 経営 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期改選後の適正な議員定数と報酬を定める ・ 議会機能を強化させる研修会の実施 ・ 議会の政策提言を支援する議会図書室の充実 ・ 業務マネジメントによる働き方改革の推進（夏季休暇の活用によるワークライフバランスの推進）
---------------------	--

8 部の 経営 方針	<p>【市民】 議会に向けた市民の信頼度向上</p> <p>【経営】 議員から信頼される事務局の調整力の向上</p> <p>【政策】 議会における政策立案能力の確立・強化</p> <p>【協働】 議会モニター制度を活用した議会改革の推進</p> <p>【人材】 O J Tによる職員研修の実施</p> <p>【改善】 業務改善ミーティングの開催</p>
---------------------	--

9 部の 重要 政策 の取 組内 容	<p>【新規】 ①議会政策形成セミナーの実施</p> <p>【拡大】 ①議会図書室の機能強化</p> <p style="padding-left: 20px;">②VUCAの時代を踏まえ多様な市民ニーズの把握（議会報告会、意見交換会、市民アンケート等）</p> <p style="padding-left: 20px;">③次期改選後の適正な議員定数と報酬等の調査</p> <p>【改良】 ①議会モニター制度を活用し、市民感覚に則した議会改革の推進</p> <p style="padding-left: 20px;">②市民から親しまれる議会だよりの改善</p> <p style="padding-left: 40px;">I C Tツール等を活用し、市民起点の「読まれる」紙面づくり</p> <p style="padding-left: 20px;">③政務活動費の執行率向上</p> <p style="padding-left: 40px;">議員個々の調査研究等の活動活性化による議会の「見える化」を担保する政務活動費の執行率を向上させる。</p> <p style="padding-left: 40px;">目標／予算執行率80%</p> <p style="padding-left: 20px;">④議員の資質向上</p> <p style="padding-left: 40px;">資質向上の研修内容の改良・豊富化、開催日時の柔軟な運用を考え、質・量の充実を図る。</p> <p style="padding-left: 40px;">目標／市民起点の議論が展開される議会</p>
--------------------------------------	---